

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	兄弟の続柄にみたけんかに対する子どもの意識の変容
Author(s)	佐藤, 憲朗
Citation	児童の言語生態研究 , 11 : 28 - 41
Issue Date	1982-12-01
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045123
Right	
Relation	



兄弟の続柄にみたけんかに 対する子どももの意識の変容

佐藤憲朗

児童の言語生態の研究を目的とする

われわれにとって、子供のけんかは、見過すことのできない課題である。それは、子供の単なる知的発達だけでなく、日常生活を含めた子供の全体的な

発達（行為と意識と言葉）を問題とするからである。人間の成長発達に、けんかはどう関わっているのか、子供を考える者の一人として、「子どもの今日的段階を生きる精一杯の姿」をとらえ、記録する仕事の重要性を思う。かくして、子供は成長していくのだと道程を明確にして、子供に対応しなければならぬことを痛感する。

赤ん坊は、けんかをしない。子供がけんかを覚えるのは、二、三歳であるといわれる。子供の生活する場が広がり、遊びの内容も深まるにつれて、子供同志のぶつかり合いが見られる。子

どものけんかは、まさに、生活であり、遊びである。子どものけんかは、どのように発達するのであろうか、その生態的発達を記したものを、ほとんど目

にしない。

ここで、『世界大百科事典』（平凡社）の喧嘩の項を開いてみると、沢田慶輔氏が次のように述べている。

「（子どもの喧嘩）喧嘩の形態には、なぐる、ける、つかみかかる、かみつく、などの身体的攻撃から、口げんか、にらみあいなどにわたるいろいろの形があり、現代社会の幼児は日本やアメリカの調査によると二、三歳で喧嘩をおぼえる。幼児においては、激しい身体的攻撃が爆発的になされるが、その持続時間は短く、終るとすぐに以前の仲よし関係に復帰する。九歳以後になると（とくに

女児において）、身体的攻撃はあま

り見られなくなり、口げんか、にらみあいが多くなっていく。喧嘩の数も少なくなるが、すぐには忘れられず、根にもつようになる。幼児期に

おいては、遊び仲間や兄弟のあいだに、遊び道具の先取権の争奪をめぐって発生することが多いが、遊びの規則や約束が学習され、協同的態度が発達するにつれて、この原因による喧嘩は減少していく。児童期においては、所有の侵害、身体的攻撃によるものが低学年に多いが、高学年になるにしたがって、社交の侵害、道徳的侵害によるものがふえていく。」子供の成長とともに、けんかの原因や行動の様相が変化してくるといことがわかるが、子供の内面の世界では、どのような変容をしているのであろう

か。

本調査は、子供のけんかの生態的発達をとらえるための一調査である。けんかの発生が二、三歳であるということは、仲間の存在を知り、自分との関係をとらえていく自我の芽生えと切り離して考えることはできない。『かから』かかられる』というけんかの行為は、日常生活の中で培われる様々な関係が土台となっているのではないか。

・「きのう　ぬる　とき

おかあさんと　けんかした。

（なんで？）

だってもよ　おかあさん　あかんぼのほうだけより　みないでしよ。

あた　さみしいから

こっち　むいてって　いったら、

大きく なっても あかんぼだ
っていうから、
おかあさんのせなか
げんこで うっちゃたら
ほんきんで おこってんの。
そいで また あたいも ぶっ
たの。

(よしこ)

・ なかす ひと

こうじ「ぼく おにいちやんに

なかされるよ、すぐに。」

やすお「ぼく おかあちゃんだな」

こうじ「きみんちのおばさんいじ

めるの？」

やすお「うん、すぐ なかすの、

ぼくのこと。」

こうじ「すごいの。」

やすお「ぼくのこと なきむし

なきむしって いうもの。」

こうじ「ようちえんじゃ なかな

いね。」

やすお「おかあちゃんが おこっ

て ぶつから なくんだも

の、いたいから。」

こうじ「おばさん、りきどう(力

道)みたい。」

やすお「ぼく なきむしじゃ な

いんだよ。」

友だちのけんかを見ていた

こうじが、やすおの肩をた

たいて話しかけた対話。や
すおの母親は気がみじかく、
すぐ手をあげてぶつくせが
ある。

清水えみ子著「ちがうほ
くとりかえて」(童心
社刊)

右の例は、子どものけんかに対する
意識や行為が、兄弟によって違うので
はないかという問いを提起している。

よく母に、「お兄ちゃんだから我慢し
なさい」とか「どうしてこんなに仲が
悪いのか」という言葉を耳にした。

けんかが起こる背景には、同じ生活
圏の中で培われる、親子関係・兄弟関
係などを問題としなければならない。

そこで、本校(遠野市附馬牛小学校)
の調査結果は、先の小林照子・堀江久
子氏の論文で紹介されているが、兄弟
の統柄別に整理し直して考えてみるこ
ととする。

問題文

けんかについて、これからたずねま
す。じぶんでそうだとおもうものに、
しょうじきに○をつけてください。

1. あなたは、いまままでにけんかした
ことがありますか。

イ ある

ロ ない

2. あなたは、けんかするとき、人をぶ
ったり人からぶられたりしたこと
がありますか。

イ 人をぶったことはあるが、ぶた

れたことはない。

ロ 人をぶったことはないが、ぶた

れたことはある。

ハ 人をぶったこともあるし、ぶた

れたこともある。

ニ 人をぶったこともないし、ぶた

れたこともない。

3. あなたは、けんかするとき、人をけ

ったり、また、人からけられたり

したことがありますか。

イ 人をけったことはあるが、けら

れたことはない。

ロ 人をけったことはないが、けら

れたことはある。

ハ 人をけったこともあるし、けら

れたこともある。

ニ 人をけったこともないし、けら

れたこともない。

4. あなたは、けんかするとき、人を

ねったり、また、人からつねられ

たりしたことがありますか。

イ 人をつなったことはあるが、つ

ねられたことはない。

ロ 人をつなったことはないが、つ

ねられたことはある。

ねられたこともある。

ニ 人をつなったこともないし、つ

ねられたこともない。

5. あなたは、けんかするとき、かみの

毛をひっぱったり、ひっぱられた

りしたことがありますか。

イ ひっぱったことはあるが、ひっ

ぱられたことはない。

ロ ひっぱったことはないが、ひっ

ぱられたことはある。

ハ ひっぱったこともあるし、ひっ

ぱられたこともある。

ニ ひっぱったこともないし、ひっ

ぱられたこともない。

6. あなたは、けんかするとき、つばを

かけたり、かけられたりしたこと

がありますか。

イ かけたことはあるが、かけられ

たことはない。

ロ かけたことはないが、かけられ

たことはある。

ハ かけたこともあるし、かけられ

たこともある。

ニ かけたこともないし、かけられ

たこともない。

7. あなたは、けんかするとき、石をな

げつけたり、なげつけられたりし

たことがありますか。

- ロ なげつけたことはないが、なげつけられたことはある。
- ハ なげつけたこともあるし、なげつけられたこともある。
- ニ なげつけたこともないし、なげつけられたこともない。
- 8 あなたは、けんかのとき、かみついたり、かみつかれたりしたことがありますか。
- イ かみついたことはあるが、かみつかれたことはない。
- ロ かみついたことはないが、かみつかれたことはある。
- ハ かみついたこともあるし、かみつかれたこともある。
- ニ かみついたこともないし、かみつかれたこともない。
- 9 あなたは、けんかして泣いたことがありますか。
- イ あいてをなかしたことはあるが、なかされたことはない。
- ロ あいてをなかしたことはないが、なかされたことはある。
- ハ あいてをなかしたこともあるし、なかされたこともある。
- ニ あいてをなかしたこともないし、なかされたこともない。
- 10 あなたは、けんかして泣くことについてどうおもっていますか。
- イ けんかしてないなら、けんかにまけたことになる。
- ロ けんかしてなくても、けんかにまけたことにならない。
- ハ けんかしてあいてをなかしたら、けんかにかつたのだ。
- ニ けんかしてあいてをなかしても、けんかにかつていない。
- ホ けんかして、なくのは、けんかのかちまけとかんげいしない。
- 11 あなたはけんかについてどうおもっているか、つぎのうちにあたっているもの○をつけてください。
- イ じぶんは、けんかにつよい。
- ロ じぶんは、けんかによわい。
- ハ じぶんは、けんかをあまりやらないので、つよいかわいかわからない。
- ニ いままでのけんかで、まけたことはない。
- ホ いままでのけんかで、まけたことはある。
- ヘ あまりやつたことはないが、やつたぜったいかつ。
- ト まけるかもしれないけど、けんかはかちたい。
- チ けんかなんかまけてもいいとおもっている。
- リ かちたくはないが、まけたくはない。
- 又 けんかは、こわいからきらい。
- ル けんかは、じぶんからやらないが、しかけられたらやる。
- ヲ かつけんかはやるが、まけるけんかはしない。
- ワ けんかはよわいものやってはいけないが、つよいものとならやってよい。
- カ 男の子が、女の子をあいてにけんかするのは、みともない。
- ヨ 女の子が、男の子をあいてにけんかするのは、みともないことではない。
- 12 あなたが、けんかのときにつかつたことがあるとおもうことばは、つぎのどれでしょう。そのことばに○をつけてください。
- イ たすけて！
- ロ このヤロウ！
- ハ チクショウ！
- ニ やるならやってみろ！
- ホ やるきか！
- ヘ やったな！
- ト さまあみろ！
- チ ちえっ！
- 13 あなたが、けんかのおわりるときにつかつたことがあるとおもうことばは、つぎのどれでしょう。
- イ まいった まいった
- ロ こうさん
- ハ おおえてろ

表1 兄弟の続柄別調査数

	6年	5年	4年	3年	2年	全
長男	10	8	9	5	8	40
二男	3	4	4	4	4	19
三男		1			1	2
四男					1	1
男計	13	13	13	9	14	62
長女	16	4	10	4	8	42
二女	8	4	8	2	6	28
三女			1	1	1	3
四女		1			1	2
女計	24	9	19	7	16	75
計	37	22	32	16	30	137

まず、調査対象を兄弟の続柄別に整理し直すと、次の表1のようになる。

昭和三十五年九月

十二月

○実施年月日

（一年生は、問題の意味が理解できないので省いた。）

計 一三七名（男六二・女七五）

六年 三七名（男一三・女二四）

五年 二二名（男一三・女九）

四年 三二名（男一三・女一九）

三年 一六名（男九・女七）

二年 三〇名（男一四・女一六）

本校は、『民話の里』で知られる遠野市の最北端に位置し、保護者は兼業農家が五割を占め、冬、出稼ぎに出る家庭も少なくない。

調査校 岩手県遠野市立附馬牛小学校

表2-1 〔長男・二男・長女・二女別〕 ()内は%

	男				女					男				女				
	長男 (40)	二男 (19)	三男 (2)	四男 (1)	長女 (42)	二女 (28)	三女 (3)	四女 (2)		長男 (40)	二男 (19)	三男 (2)	四男 (1)	長女 (42)	二女 (28)	三女 (3)	四女 (2)	
2-イ (いぶ)	イ	10 (250)	0	0	0	1 (24)	1 (35)	0	0	7-イ (石を投げる)	7 (175)	3 (158)	0	0	2 (48)	3 (107)	1	0
	ロ	5 (125)	4 (210)	0	0	5 (119)	5 (179)	0	1	ロ	9 (225)	5 (263)	1	1	10 (238)	12 (429)	1	1
	ハ	20 (500)	12 (632)	2	1	27 (643)	18 (643)	3	1	ハ	10 (250)	7 (368)	1	0	6 (143)	3 (107)	0	0
	ニ	5 (125)	3 (158)	0	0	9 (214)	4 (143)	0	0	ニ	14 (350)	4 (211)	0	0	24 (571)	10 (357)	1	1
3-イ (めげ)	イ	9 (225)	2 (103)	0	0	3 (71)	0	0	0	8-イ (かみつく)	6 (150)	2 (105)	0	0	3 (72)	3 (107)	0	0
	ロ	5 (125)	4 (211)	1	1	12 (286)	8 (286)	1	1	ロ	10 (250)	4 (211)	1	1	8 (190)	4 (143)	1	1
	ハ	20 (500)	10 (526)	1	0	20 (476)	14 (500)	2	1	ハ	2 (50)	5 (263)	0	0	9 (214)	4 (143)	1	0
	ニ	6 (150)	3 (158)	0	0	7 (167)	6 (214)	0	0	ニ	22 (550)	8 (421)	1	0	22 (524)	17 (607)	1	1
4-イ (めね)	イ	8 (200)	3 (158)	1	0	1 (24)	1 (35)	1	0	9-イ (泣いた)	8 (200)	4 (211)	1	0	4 (95)	1 (36)	0	0
	ロ	10 (250)	8 (421)	0	1	11 (262)	11 (393)	1	1	ロ	4 (100)	3 (158)	1	1	9 (214)	8 (286)	0	2
	ハ	15 (375)	5 (263)	0	0	21 (500)	12 (429)	1	0	ハ	27 (675)	10 (526)	0	0	26 (619)	17 (607)	3	0
	ニ	7 (175)	3 (158)	1	0	9 (214)	4 (143)	0	1	ニ	1 (25)	2 (105)	0	0	3 (72)	2 (71)	0	0
5-イ (めねじり)	イ	7 (175)	4 (203)	0	0	4 (95)	1 (35)	0	0	10-イ (泣くことについて)	10 (250)	6 (318)	0	0	12 (286)	5 (179)	1	1
	ロ	8 (200)	5 (263)	1	1	11 (262)	11 (393)	1	1	ロ	8 (200)	2 (105)	0	1	7 (167)	0	0	1
	ハ	16 (400)	3 (158)	0	0	19 (453)	12 (429)	1	0	ハ	5 (125)	4 (211)	1	0	4 (95)	1 (36)	1	0
	ニ	9 (225)	7 (368)	1	0	8 (190)	4 (143)	1	1	ニ	3 (75)	1 (53)	0	0	6 (143)	5 (179)	0	0
6-イ (めねじり)	イ	5 (125)	3 (158)	0	1	1 (24)	0	0	0	ホ	15 (375)	5 (263)	1	0	15 (357)	16 (571)	1	0
	ロ	9 (225)	3 (158)	1	0	9 (214)	10 (357)	1	2	13-イ (けんかの おわり)	7 (175)	3 (158)	0	1	5 (119)	2 (71)	0	1
	ハ	5 (125)	5 (263)	1	0	4 (95)	0	1	0	ロ	2 (50)	0	0	0	4 (95)	6 (214)	1	0
	ニ	21 (525)	8 (421)	0	0	28 (667)	18 (643)	1	0	ハ	18 (450)	12 (632)	1	0	17 (405)	13 (464)	2	1

調査結果と考察

まず、兄弟の統柄別に整理し直し、三男・四男・三女・四女は調査数が少ないので除いて、あげた表が、表2である。

○全体的に

〔けんかで泣いた経験の有無〕

長男・二男・長女・二女とも約六割の子どもが、(泣かしたことも泣かされたこともある)と答えているが、(泣かしたことはあるが、泣かされたことはない)は、男子(長男・二男)が女子(長女・二女)に比して多く、(泣かしたことはないが、泣かされたことはある)は、女子が多い。ほとんどの子どもは、けんかで泣かしたことも泣かされた経験も持っているが、男子は泣かされた経験を持たない者、女子は泣かした経験を持たない者が多いことがわかる。このことは、男子は女子に比べて加害者意識が強く、女子は被害者意識の強いことがうかがえる。

〔泣くことと勝敗感〕

けんかして泣くことと勝敗感とは関係ないとするのは、特に二女に多く、五七パーセントを占めており、二男でも二六パーセントになっている。(けんかして泣いたら、けんかに負けたこととなる・けんかして相手を泣かした

ら、けんかに勝ったのだ)という意識は、二男において、顕著である。長男・長女は、(けんかして泣いたら、けんかに負けたことになる)意識は、約四分の一になっているが、(けんかして相手を泣かしたら、けんかに勝ったのだ)という意識は、約一割で薄い。

〔泣く〕は、自分の経験で考えやすく、(泣かず)という対象を必要とする行為と勝敗感を結びつけて考えにくかったのではないかと考える。

〔けんかの行為と経験〕

本調査で取り上げたけんかの行為の中で、(したこともされたこともある)が、長男・二男・長女・二女とも五割を越しているものとして、(ぶつ)〔けんか〕があり、(したこともされたこともない)が、五割以上(二男を除く)というものは、(つばをかける)〔かみつ〕行為である。(つねる)〔髪をひっぱる〕行為は、(したこともされたこともある)とするのが、二男は少なく、反対に、(つばをかける)〔かみつ〕行為は、(ぶつ)〔ける〕行為において、(された経験)を持たない者が多く、加害者意識が強いことがわかる。二女は、(髪をひっぱる)〔つばをかける〕(石を投げる)行為(したことはないが、されたこと

表 2-2

	けんかについてどう思っているか				けんかのことば				6年	5年	4年	3年	2年			
	長男 (40)	二男 (18)	三男 (2)	四男 (1)	長女 (42)	二女 (28)	三女 (3)	四女 (2)								
11-イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ カ ヨ	5 (12.5)	4 (21.0)	1	0	3 (7.2)	2 (7.1)	0	0	0	0	0	1(20.0%)	0	長男 二女		
	13 (32.5)	4 (21.0)	1	1	9 (21.4)	10 (35.7)	2	2	3(18.7%)	0	0	0	3(37.5%)	長女 二女		
	16 (40.0)	8 (42.1)	0	0	14 (33.3)	7 (25.0)	1	0	0	0	0	2(100.0%)	0	長男 二女		
	3 (7.5)	6 (31.8)	0	0	0	1 (3.6)	0	0	6(37.5%)	1(25.0%)	5(50.0%)	2(50.0%)	1(12.5%)	長女 二女		
	15 (37.5)	6 (31.8)	1	1	12 (28.6)	7 (25.0)	3	1	2(25.0%)	1(12.5%)	3(37.5%)	0	3(50.0%)	長男 二女		
	3 (7.5)	2 (10.5)	0	0	1 (2.4)	0	0	0	0	2(50.0%)	0	0	0	長男 二女		
	8 (20.0)	4 (21.1)	0	0	12 (28.6)	6 (21.4)	0	0	2(20.0%)	2(25.0%)	0	0	1(20.0%)	長男 二女		
	8 (20.0)	0	0	0	4 (9.5)	4 (14.3)	0	0	0	0	0	0	1(25.0%)	長男 二女		
	9 (22.5)	3 (15.8)	1	0	8 (19.0)	3 (10.7)	0	0	0	1(25.0%)	1(100%)	0	1(25.0%)	長男 二女		
	2 (5.0)	1 (5.3)	0	0	7 (16.7)	5 (17.9)	1	0	2(25.0%)	0	0	0	2(33.3%)	長男 二女		
12-イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ	3 (7.5)	4 (21.1)	0	0	6 (14.3)	7 (25.0)	1	1	4(40.0%)	2(25.0%)	5(55.6%)	2(40.0%)	1(12.5%)	長男 二女		
	7 (17.5)	2 (10.5)	0	1	3 (7.2)	2 (7.1)	0	0	2(66.7%)	2(50.0%)	1(25.0%)	1(25.0%)	0	長男 二女		
	7 (17.5)	8 (42.1)	0	0	2 (4.8)	0	0	0	3(18.7%)	1(25.0%)	4(40.0%)	0	1(12.5%)	長男 二女		
	14 (35.0)	7 (36.8)	0	1	9 (21.4)	6 (21.4)	1	1	1(12.5%)	1(25.0%)	2(25.0%)	0	0	長男 二女		
	2 (5.0)	2 (10.5)	0	0	10 (23.8)	7 (25.0)	3	0	0	0	1(12.5%)	0	0	長男 二女		
	1 (2.5)	1 (5.3)	0	0	6 (14.3)	2 (7.1)	2	1	0	0	1(11.1%)	0	0	長男 二女		
	17 (42.5)	13 (68.4)	1	0	15 (35.7)	9 (32.1)	1	0	0	0	1(25.0%)	1(25.0%)	1(25.0%)	長男 二女		
	6 (15.0)	4 (21.1)	0	0	3 (7.2)	3 (10.7)	0	0	6(37.5%)	2(50.0%)	4(40.0%)	0	0	長男 二女		
	6 (15.0)	1 (5.3)	0	0	4 (9.5)	4 (14.3)	2	1	0	0	4(100.0%)	1(12.5%)	2(100.0%)	長男 二女		
	14 (35.0)	6 (31.8)	2	0	8 (19.0)	4 (14.3)	0	0	4(40.0%)	3(75.0%)	4(44.4%)	2(40.0%)	1(12.5%)	長男 二女		
									長男	二男	三男	四男	長女	二女	三女	四女
									6 (15.0)	6 (31.8)	0	0	13 (31.0)	7 (25.0)	1	0
									13 (32.5)	5 (26.3)	0	0	8 (19.0)	5 (17.9)	0	0
									2 (5.0)	3 (15.8)	0	1	2 (4.8)	0	1	0

は(ある)が多く、被害者意識が強いことがわかる。へつねる行為は、二女・二男が、長男・長女と比べて、被害者意識が強いことがわかる。へ石を投げる行為は、長女はへどちらにも経験していないが多い。

〔けんかの強弱意識〕
ほとんどの子どもは、へけんかをあまりやらないので、強いかわいかわかないと判断できずにいる。しかし、へ自分は、けんかに強いと意識しているのは、二男であり、へ今までのけんかで負けたことはないとする回答の多いことから、相対的勝敗感と直接つながらているとしてよい。反対に、へ自分は、けんかに弱いと意識しているのは、長男と二女である。長男は負けた経験を持つ子どもが多いことがらうなづける。二女は、被害者意識が強く、強弱意識と結びついていることがわかる。

〔勝ち負けへの願望〕
ほとんどの子どもは、へ負けるかもしれないけど、勝ちたいと思っており、へやったら絶対勝つと意識しているのは、女子より男子のほうが、やや強い。長男の特徴として、へ負けたくはないと思っている子どももいるが、へ負けてもいいと思っている子どもが他より多いことである。

〔けんかへの恐怖心〕
けんかへの恐怖心は、男子より女子のほうが強く、長男と二男・長女と二女の同性同志では差異はみられない。

〔小学生のけんかへの美意識〕
へ勝つけんかはやるが、負けるけんかはしないへは、長男が他よりやや強い。売られたけんかは買わなければならないという意識は二男・二女が強い。

〔面目〕
けんか相手を選ぶなら、弱者はいけないが、強者ならよいという意識は男子に強く、特に二男が高い。男子は、女子とけんかすることにみっともなきを感じているが、女子は、男子とのけんかにみっともなきを感じていない。このことから、男子、特に二男には、男子を強者、女子を弱者とする考えが強い。

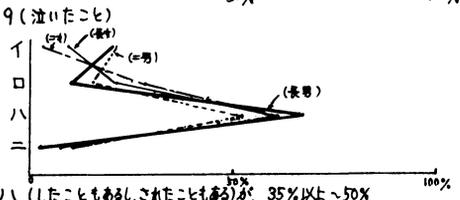
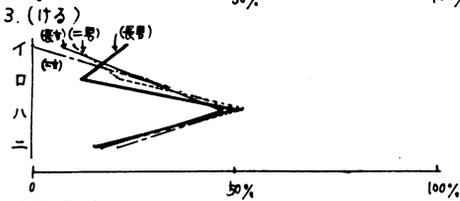
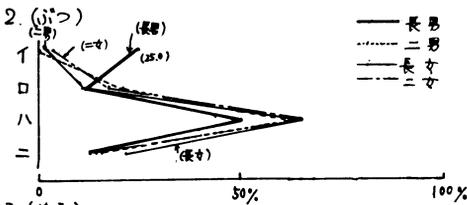
〔けんかの時の用語〕
長男・二男・長女・二女とも三十パーセント以上を示している語に、へのヤロウ、へ男子が三十パーセント以上である語に、へやるきかがある。このことから、けんかの時には強気な言葉を使っていることがわかる。長男の特徴として、へやったなへが他と比べて低く、へさまをみるへが高いことが上げられる。つまり、長男は、けんかの仕掛人である場合が多いからで

表 2

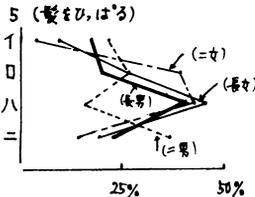
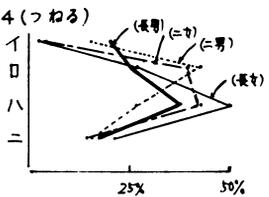
【長男・二男・長女・二女別】比較

①全体 [けんか行動経験]

ハ(したこともある、されたこともある)が、どれか50%以上

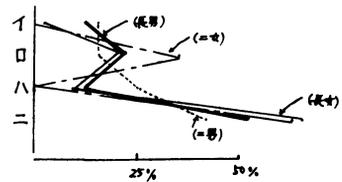


ハ(したこともある、されたこともある)が、35%以上~50%

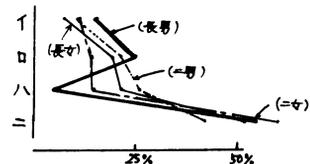


ニ(したことはないし、されたことはない)が50%以上

6. (つばをかける)



8 (かみつく)



ニ(したことはないし、されたことはない)が、長男・長女 30%以上

7. (石を投げる)

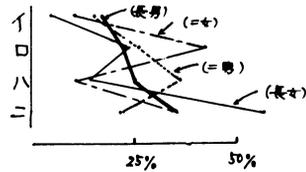
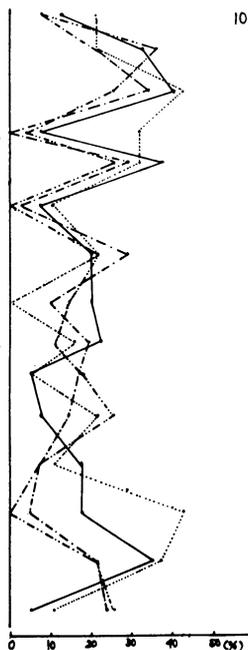


表 2

- 11-イ 自分はけんかに強い。
- ロ 自分はけんかに弱い。
- ハ 自分はけんかをあまりやらないので、強いかわからない。
- ニ 今までのけんかで負けたことはない。
- ホ 今までのけんかで負けたことはある。
- ヘ あまりやったことはないが、やたら絶対勝つ。
- ト 負けるかもしれないけど、けんかは勝りたい。
- チ けんかなんか負けてもいいと思っている。
- リ 勝ちたくないが、負けたくはない。
- ヌ けんかはこわいからきらい。
- ル けんかは、自分からやらないが、しかけられたら絶対やる。
- ヲ 勝つけんかはやるが、負けるけんかはしない。
- ワ けんかは弱い者とやってはいけないが、強い者ならやってもいい。
- カ 男の子が女の子を相手にけんかするのは、みっともない。
- コ 女の子が男の子を相手にけんかするのは、みっともないことはない。



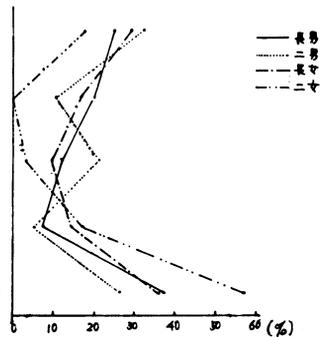
10-イ けんかして泣いたら、けんかに負けたことになる。

ロ けんかして泣いても、けんかに負けたことにならない。

ハ けんかして相手を泣かしたら、けんかに勝ったのだ。

ニ けんかして相手を泣かしても、けんかに勝っていない。

ホ けんかして泣くのはけんかの勝ち負けと関係ない。



はないかと考える。けんかの終わりの言葉として、負けを認める「まいったまいった」へ「こうさん」より、「おぼえてろ」が、長男・二男・長女・二女とも、四割を越していることから、けんかで負けを認めたくない意識が強いことがわかる。なお、本調査で選択した語の中には強いと指摘してくれた子どもが、数名いることをつけ加えておく。

○学年別

調査数が少なく、学年の特色はこうだと言い得るためには、さらに、多くの調査数が必要だが、本調査は、けんかに対する意識発達を知ることあるので、グラフB 1～6を作成した。

〔けんかで泣いた経験の有無〕

二、三年生を除くと、長男・二男・長女・二女とも、(泣かしたことも泣かされたこともある)子どもが、四分の三を占めている。(泣かしたことはあるが、泣かされたことはない)子どもは、長男では、二年生に多く、他の学年は少数である。二男でも、三・六年生を除くと少数である。女子では、長女・二女とも、二・三年生にみられる。反対に、(泣かしたことはないが、泣かされたことはある)子どもは、長女では、三年生、二女では、二・三年生に多くみられ、他の学年も少数みられる。以上のことから、低学年においては、(泣かしたことはあるが、泣かされたことはない)子どもや(泣かしたことはないが、泣かされたことはある)子どもが存在するが、学年がすすむにつれて、どちらの経験もしていくことがわかる。

〔泣くことと勝敗感〕

けんかして泣くのは、けんかの勝ち負けと関係ないとする子どもが多いことは、各学年とも共通である。(けんかして泣いたら、けんかに負けたことになる)意識は、長男で二・五年生、二男で二・四年生で高いが、(相手を泣

表B-1 【学年別・長男・二男・長女・二女】

	泣かしたことがある							泣かされたことがある						
	6年	5年	4年	3年	2年	1年		6年	5年	4年	3年	2年	1年	
2-1 く は ら い な い こ と が あ る	2(20%) 0 1(63%) 1(125%)	1(125%) 0 0 0	3(333%) 0 0 0	0 0 0 0	4(50%) 0 0 0	長男 二男 長女 二女	4-1 く は ら い な い こ と が あ る	2(20%) 1(333%) 10(625%) 5(625%)	5(625%) 1(25%) 2(50%) 1(25%)	3(333%) 1(25%) 6(60%) 5(625%)	0 2(50%) 2(50%) 0	5(625%) 0 1(125%) 1(167%)	0 0 1(125%) 1(167%)	長男 二男 長女 二女
	0 0 2(125%) 1(125%)	0 0 0 0	1(111%) 2(50%) 0 0	2(40%) 0 1(25%) 1(50%)	2(25%) 2(50%) 2(25%) 3(50%)	長男 二男 長女 二女	5-1 く は ら い な い こ と が あ る	5(50%) 2(125%) 1(125%) 1(125%)	1(125%) 1(25%) 2(20%) 0	0 2(50%) 2(20%) 0	1(20%) 1(25%) 1(50%) 0	0 1(25%) 3(375%) 2(333%)	0 1(25%) 3(375%) 2(333%)	長男 二男 長女 二女
	7(70%) 3(100%) 11(687%) 6(75%)	6(75%) 4(100%) 4(100%) 4(100%)	4(444%) 2(50%) 8(80%) 7(875%)	2(40%) 3(75%) 2(50%) 0	1(125%) 0 2(25%) 1(167%)	長男 二男 長女 二女	6-1 く は ら い な い こ と が あ る	1(10%) 1(333%) 2(125%) 1(125%)	1(125%) 2(50%) 1(25%) 0	2(222%) 0 1(10%) 0	2(222%) 0 1(10%) 0	1(20%) 1(25%) 0 0	2(25%) 0 0 0	長男 二男 長女 二女
	1(10%) 0 2(125%) 0	1(125%) 0 0 0	1(111%) 0 2(20%) 1(125%)	1(20%) 1(25%) 1(25%) 1(50%)	1(125%) 2(50%) 4(50%) 2(333%)	長男 二男 長女 二女	7-1 く は ら い な い こ と が あ る	2(20%) 1(333%) 1(333%) 1(125%)	1(125%) 1(25%) 2(50%) 2(50%)	3(333%) 0 1(10%) 2(25%)	0 0 1(10%) 2(25%)	1(20%) 1(25%) 2(50%) 1(50%)	2(25%) 3(375%) 5(833%) 0	長男 二男 長女 二女
	2(20%) 0 2(125%) 0	1(125%) 0 1(25%) 0	2(222%) 0 0 0	0 1(25%) 0 0	4(50%) 1(25%) 1(25%) 0	長男 二男 長女 二女	8-1 く は ら い な い こ と が あ る	5(50%) 1(333%) 10(625%) 6(75%)	4(50%) 1(25%) 0 1(25%)	3(333%) 0 7(70%) 5(625%)	0 0 0 0	4(50%) 1(25%) 2(25%) 0	4(50%) 1(25%) 2(25%) 0	長男 二男 長女 二女
	0 1(333%) 2(125%) 0	1(125%) 0 2(50%) 3(75%)	1(111%) 0 2(20%) 1(125%)	1(20%) 1(25%) 2(50%) 0	2(25%) 2(50%) 4(50%) 4(667%)	長男 二男 長女 二女	9-1 く は ら い な い こ と が あ る	2(20%) 1(333%) 1(333%) 0	2(25%) 0 3(75%) 1(25%)	2(222%) 3(75%) 1(10%) 1(125%)	3(60%) 2(50%) 2(50%) 1(50%)	0 1(25%) 3(375%) 1(167%)	0 1(25%) 3(375%) 1(167%)	長男 二男 長女 二女
	6(60%) 2(667%) 9(563%) 7(875%)	6(75%) 3(75%) 1(25%) 1(25%)	5(556%) 4(100%) 8(80%) 5(625%)	1(20%) 1(25%) 1(25%) 0	2(25%) 1(25%) 1(125%) 1(125%)	長男 二男 長女 二女	10-1 く は ら い な い こ と が あ る	1(10%) 1(333%) 1(63%) 0	0 0 0 0	0 1(25%) 0 0	0 1(25%) 0 0	0 0 0 0	4(50%) 1(25%) 0 0	長男 二男 長女 二女
	2(20%) 0 1(187%) 1(125%)	1(25%) 0 0 0	1(111%) 0 0 2(25%)	3(60%) 1(25%) 1(25%) 2(100%)	0 1(25%) 3(375%) 1(167%)	長男 二男 長女 二女	11-1 く は ら い な い こ と が あ る	3(30%) 0 4(25%) 4(50%)	3(375%) 0 1(25%) 0	2(222%) 0 0 2(25%)	0 1(25%) 1(25%) 1(50%)	0 1(25%) 3(375%) 3(50%)	1(125%) 2(50%) 3(375%) 3(50%)	長男 二男 長女 二女
	0 1(63%) 0 0	1(125%) 2(50%) 0 0	4(444%) 0 0 1(125%)	2(40%) 0 0 0	1(125%) 1(25%) 1(25%) 0	長男 二男 長女 二女	12-1 く は ら い な い こ と が あ る	2(20%) 1(333%) 1(333%) 0	1(125%) 1(25%) 1(25%) 0	2(222%) 3(75%) 1(10%) 3(30%)	0 2(50%) 0 0	0 1(125%) 0 0	0 1(125%) 0 0	長男 二男 長女 二女
	3(30%) 2(667%) 3(187%) 2(25%)	1(125%) 1(25%) 1(25%) 3(75%)	2(222%) 1(25%) 2(20%) 2(25%)	2(40%) 2(50%) 1(25%) 1(50%)	2(25%) 2(50%) 4(50%) 3(50%)	長男 二男 長女 二女	13-1 く は ら い な い こ と が あ る	4(40%) 1(333%) 11(687%) 4(50%)	4(50%) 3(75%) 3(75%) 4(100%)	5(556%) 2(50%) 7(70%) 6(75%)	5(100%) 1(25%) 3(75%) 1(50%)	3(375%) 1(25%) 4(50%) 3(50%)	3(375%) 4(50%) 4(50%) 3(50%)	長男 二男 長女 二女

〔勝ち負けへの願望〕

「負けるかもしれないけど、けんかは勝ちたい」と思っている子どもが多いのは、長男では二年生、二男では三年生、女子では四年生であるが、ほとんど各学年に数名いる。反対に、けんかなんか負けてもいい」と思っている子どもは、長男では各学年に、女子でも四年以上に数名おり、特に長男の三年生で高い。へ負けたくはない」と子どもは、長男の四年生に多いことがわかる。

〔けんかの恐怖心〕

長女・二女とも、各学年にわずかに「へこわい」と意識している子どもがおり、長女では四年生・二女では、二年生が高いが、ほとんど学年差はみられない。

〔けんかへの美意識〕

「勝つけんかはやるが、負けるけんかはしない」と意識している子どもが、長男は五年を除いた各学年にわずかにみられる。売られたけんかは買わなければならぬ意識は、二男の五年生、女子では六年生で高い。

〔面目〕

けんか相手として、弱者とはいけないが、強者とならやっつてよいという意識は、男子にみられ、学年差異はみられない。女子とけんかすることに、長男はみっともなさを感じており、二男でも三年生の意識が強い。男子とのけんかにみっともなさを感じていないのは、長女では、六年生・二女では四年

生が高い。

〔けんかの用語〕

長女の二年生、二女の三年生にへたすけて／＼が多いが、長男の三年生、二男の四年生にもみられる。へやるきかへは、長男の三・四・六年生で、二男でも五・六年生で多い。へやったなへは、長男では三年生、長女では四年以上、二女でも三年と五年が多い。へこのヤロウ／＼は、男子の四年生以上も多く、長女では、三・四年、二女でも二年生に多く、学年が進むにしたがって低くなる。長女の六年生で再び高くなることは、へ売られたけんかは買わなければならない。へが六年で高くなることから説明がつく。へさまをみる／＼が、長男では、三・四・六年で、二男でも五年生で高いことは、へやるきかへと同様であることと関係があり、けんかの仕掛け人と優越感の現われとみる事ができる。

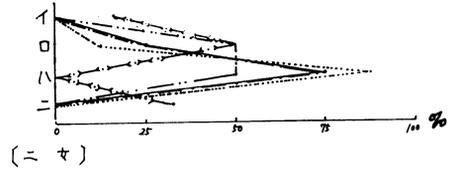
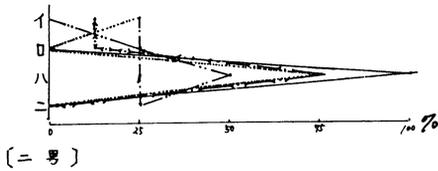
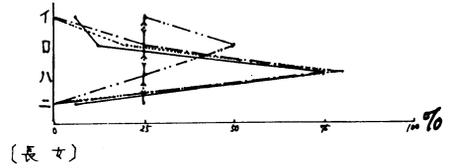
けんかの終わりの言葉として選択した三語の中で、へおぼえてろ／＼は、長男の三・四年、二女の三年を除くと、各学年とも高い比率を示していることから、これらの学年では、へけんかの負けを認めたくない意識が強いことがわかる。長男の三・四年、二女の三年では、へけんかなんか負けてもいい」と思っている子どもが、他と比べて多いことが、へまいったまいったの回答率からわかる。

(若手・附馬牛小・教諭)

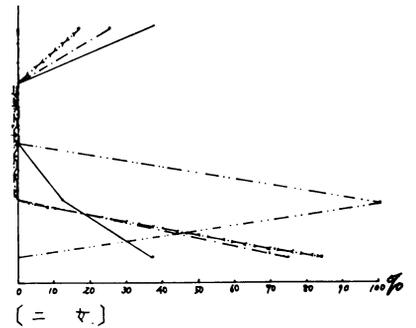
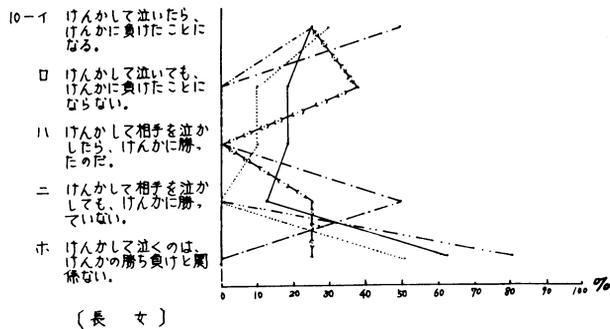
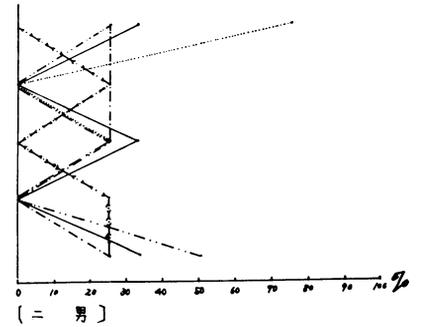
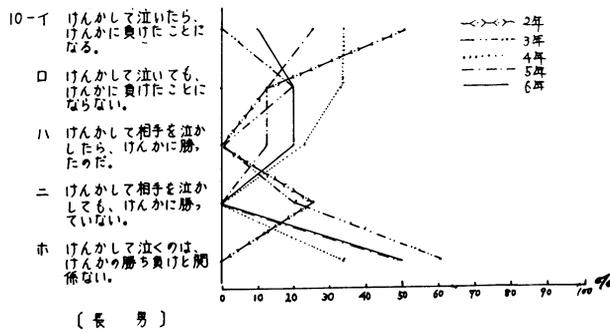
表B-3

		6年	5年	4年	3年	2年		6年	5年	4年	3年	2年		
11-イ	ロ	1(10%)	1(125%)	2(222%)	1(20%)	0	長男	1(10%)	0	0	1(20%)	0	長男	
		1(333%)	1(25%)	1(25%)	0	1(25%)	二男	0	0	1(25%)	0	0	二男	
		1(63%)	1(25%)	1(10%)	0	0	長女	1(63%)	1(25%)	3(30%)	1(25%)	1(125%)	1(125%)	長女
		0	0	2(25%)	0	0	二女	0	1(25%)	1(125%)	1(50%)	2(333%)	0	二女
		3(30%)	4(50%)	2(222%)	0	4(50%)	長男	1(10%)	1(125%)	1(111%)	0	0	0	長男
		1(333%)	1(25%)	1(25%)	0	1(25%)	二男	1(333%)	2(50%)	1(25%)	0	0	0	二男
		1(63%)	1(25%)	3(30%)	0	4(50%)	長女	5(313%)	0	0	0	0	1(25%)	長女
		3(375%)	1(25%)	4(50%)	1(50%)	1(167%)	二女	4(50%)	0	2(25%)	0	0	1(167%)	二女
		4(40%)	1(125%)	5(556%)	3(60%)	3(375%)	長男	2(20%)	0	2(222%)	1(20%)	2(25%)	2(25%)	長男
		1(333%)	1(25%)	4(100%)	1(25%)	1(25%)	二男	0	0	2(222%)	1(25%)	1(25%)	1(25%)	二男
		5(313%)	0	2(20%)	3(75%)	4(50%)	長女	0	0	1(10%)	0	2(25%)	2(333%)	長女
		0	1(25%)	1(125%)	1(50%)	4(667%)	二女	0	0	0	0	2(333%)	0	二女
2(20%)	0	1(111%)	0	0	長男	1(10%)	3(375%)	2(222%)	1(20%)	0	0	長男		
0	0	1(25%)	2(50%)	3(75%)	二男	1(333%)	2(50%)	2(50%)	1(25%)	2(50%)	0	二男		
0	0	0	0	0	長女	1(63%)	0	1(10%)	0	0	0	長女		
0	0	1(125%)	0	0	二女	0	0	0	0	0	0	二女		
5(50%)	1(125%)	4(444%)	3(60%)	2(25%)	長男	5(50%)	0	4(444%)	2(40%)	3(375%)	3(375%)	長男		
0	2(50%)	3(75%)	1(25%)	0	二男	0	1(25%)	1(25%)	4(100%)	1(25%)	1(25%)	二男		
3(188%)	1(25%)	3(30%)	2(50%)	3(375%)	長女	2(125%)	2(50%)	1(10%)	1(25%)	3(375%)	3(375%)	長女		
2(25%)	0	3(375%)	2(100%)	0	二女	1(125%)	1(25%)	1(125%)	2(100%)	1(167%)	1(167%)	二女		
2(20%)	0	1(111%)	0	0	長男	0	1(125%)	0	0	1(125%)	1(125%)	長男		
0	0	0	1(25%)	1(25%)	二男	0	0	1(25%)	1(25%)	0	0	二男		
0	0	1(10%)	0	0	長女	6(375%)	0	3(30%)	1(25%)	0	0	長女		
0	0	0	0	0	二女	0	1(25%)	4(50%)	1(50%)	1(167%)	0	二女		
2(20%)	1(125%)	0	1(20%)	4(50%)	長男	10	8	9	5	8				
0	1(25%)	1(25%)	2(50%)	2(50%)	二男	3	4	4	4	4				
3(188%)	1(25%)	5(50%)	1(25%)	2(25%)	長女	16	4	10	4	8				
1(125%)	1(25%)	3(375%)	0	1(167%)	二女	8	4	8	2	6				
2(20%)	2(25%)	1(111%)	2(40%)	1(125%)	長男			1		1				
0	0	0	0	0	二男									
2(125%)	1(25%)	1(10%)	0	0	長女				1	1				
1(125%)	1(25%)	1(125%)	0	1(167%)	二女									
2(20%)	1(125%)	5(556%)	1(20%)	0	長男	13	13	13	9	14				
0	1(25%)	1(25%)	1(25%)	0	二男	24	9	19	7	16				
3(188%)	2(50%)	2(20%)	1(25%)	0	長女									
1(125%)	1(25%)	0	0	0	二女									
					計	37	22	32	16	30				

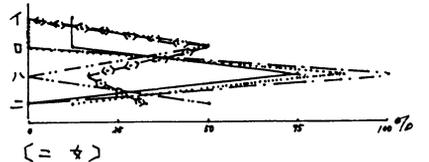
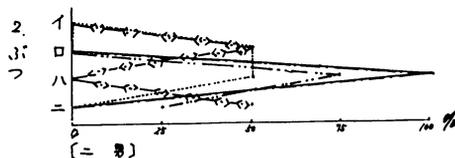
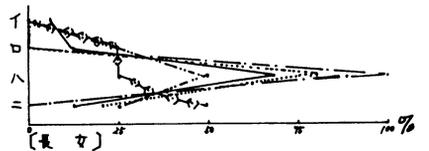
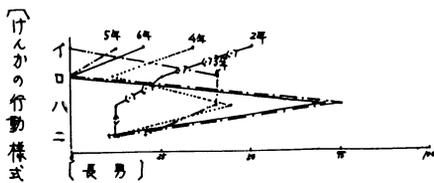
グラフB-1



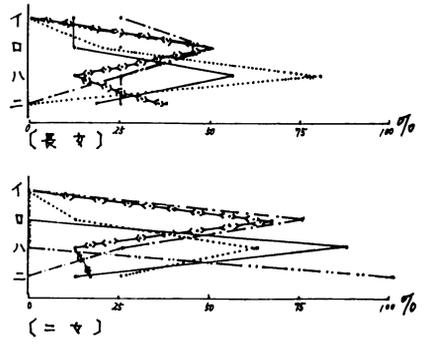
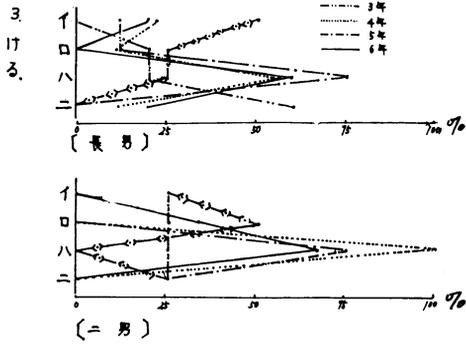
グラフB-2



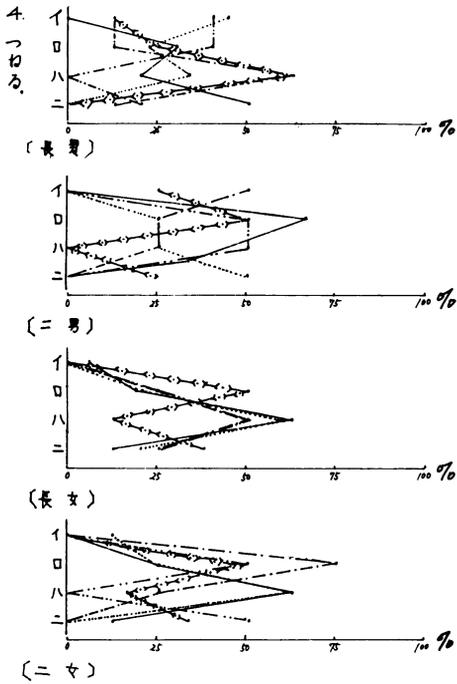
グラフB-3-ア



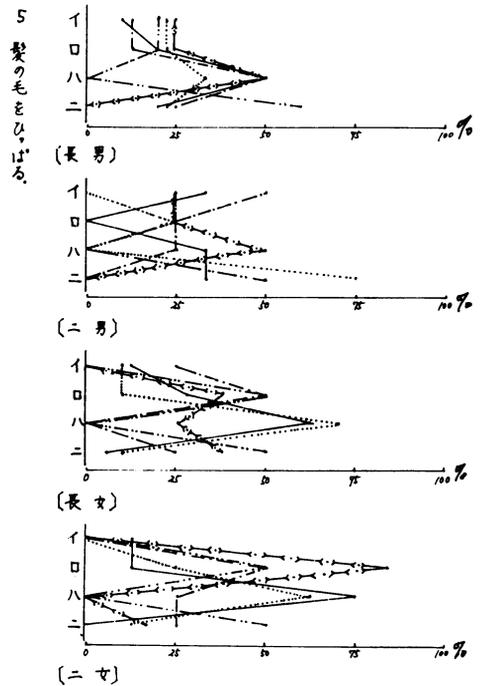
グラフB-3-イ



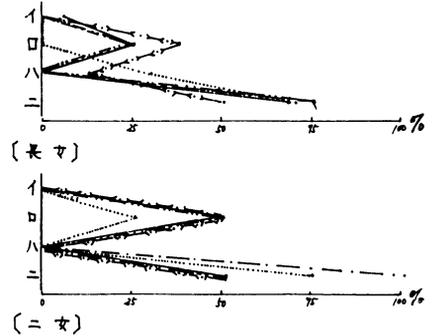
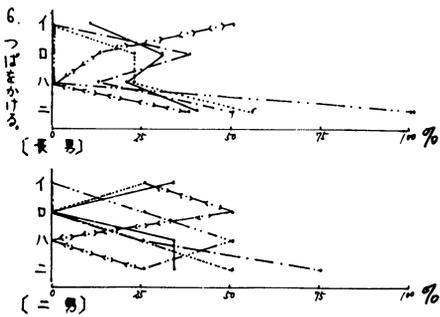
グラフB-3-ウ



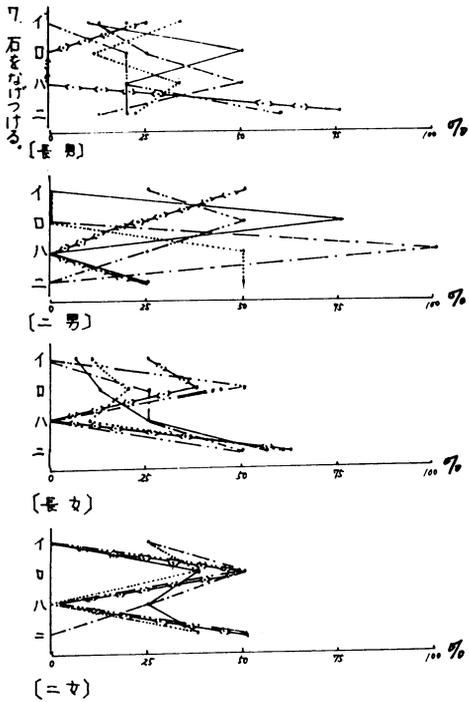
グラフB-3-エ



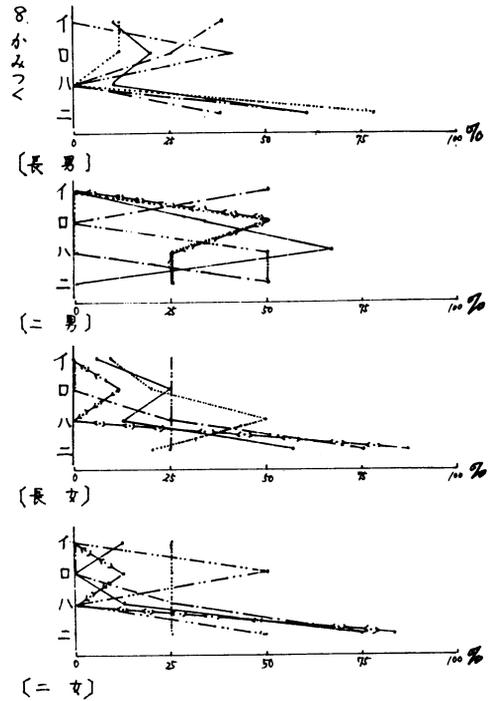
グラフB-3-オ



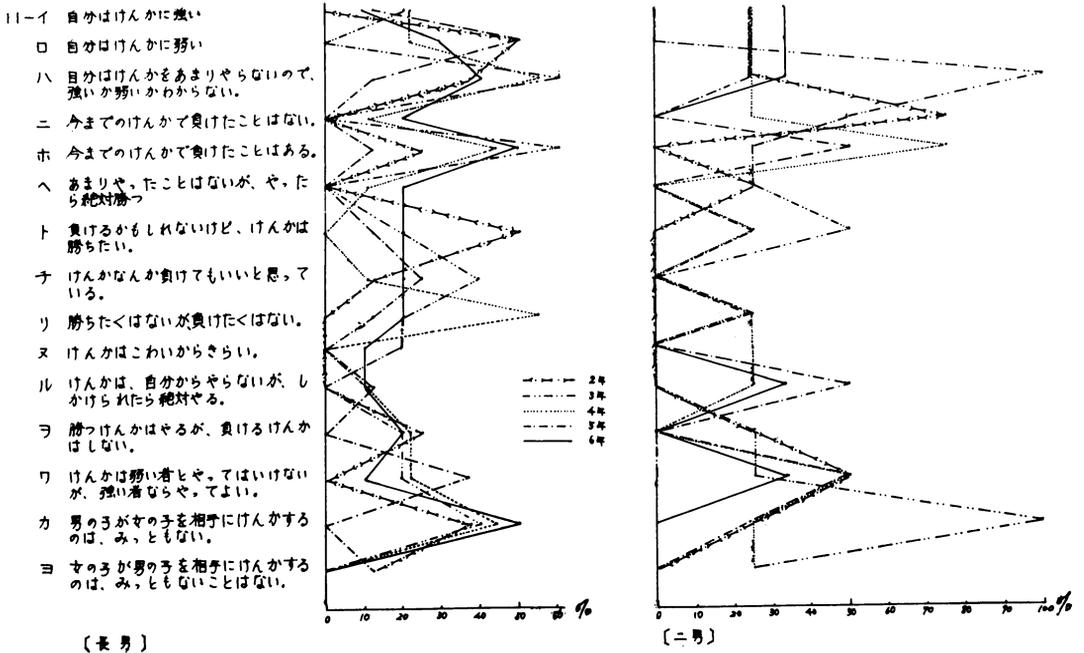
グラフB-3-カ



グラフB-3-キ



グラフB-4



グラフB-4

11-イ 自分はけんかに強い

ロ 自分はけんかに弱い

ハ 自分はけんかをあまりやらないので、強いが弱いかわからない。

ニ 今までのけんかで負けたことはない。

ホ 今までのけんかで負けたことはある。

ヘ あまりやめたことはないが、やったら絶対勝つ。

ト 負けるかもしれないけど、けんかは勝ちたい。

チ けんかなんか負けてもいと悪っている。

リ 勝ちたくはないが、負けたくはない。

ス けんかはこわいからさらい。

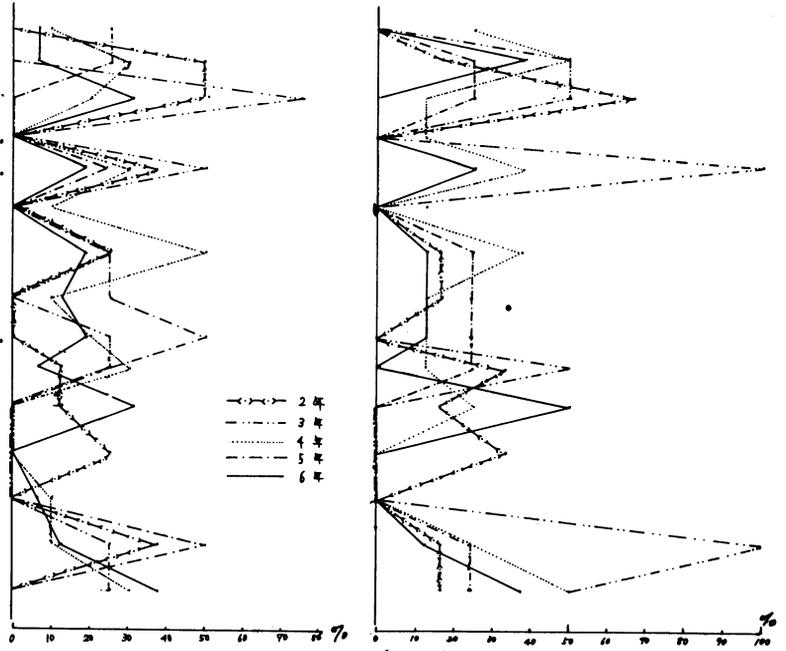
ル けんかは、自分からやらないが、しかけられたら絶対やる。

ヲ 勝つけんかはやるが、負けるけんかはしない。

ワ けんかは弱い者とやってはいけないが、強い者ならやってよい。

カ 男の子が女の子を相手にけんかするのは、みっともない。

コ 女の子が男の子を相手にけんかするのは、みっともないことはない。

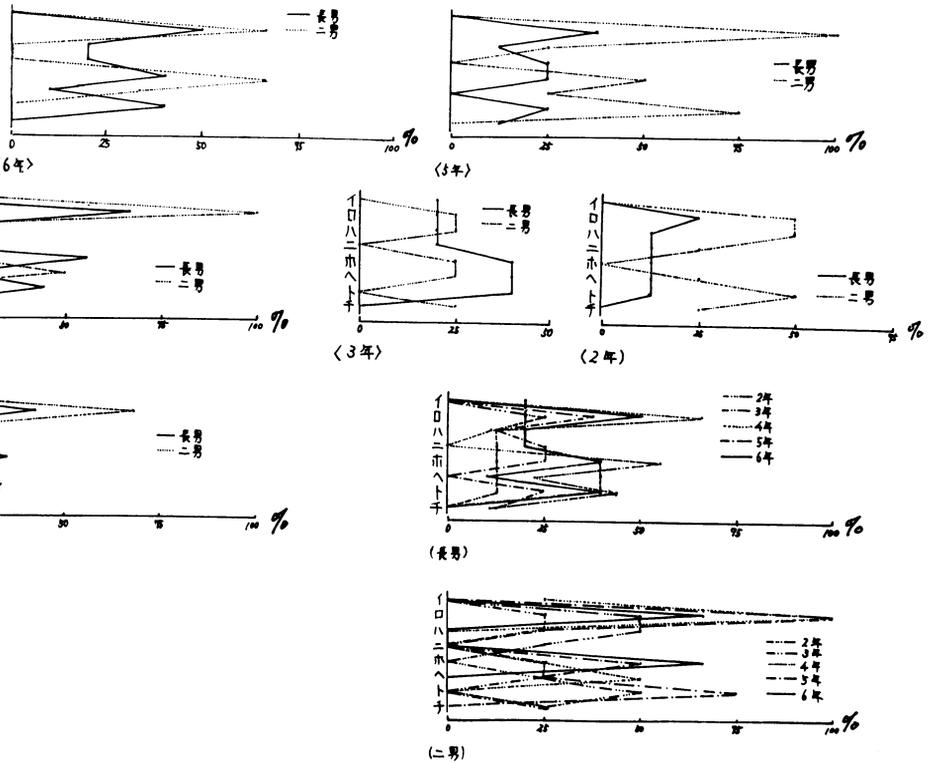


[長セ]

(ニ 女)

グラフB-5

12-イ たすけた /
ロ こつてロウ /
ハ チクショウ /
ニ やるならやっ、てみろ
ホ やるさか
ヘ や、たな
ト やまあみろ
チ らえッ /



(全体)

(長男)

(二男)

